

いのちと暮らしを守る施策の充実を 新型コロナウイルス対策特別委、7か月ぶりに開会

昨年6月1日以降開催されてこなかった市議会新型コロナウイルス調査対策特別委員会が25日、ようやく開催されました。

委員会では、市内における感染状況とその対応、ワクチンの3回目接種、小中学校における感染状況、経済対策などについて市が報告し、委員が質疑を行いました。ただ、今回はこれまでの委員会のような市への提言、まとめは行われませんでした。いくつもの重要な質疑があっただけに残念です。委員会での主な質疑についてお知らせします。



高齢者施設の利用ができなくなった場合の対策は

(質問) 入院ベッドの稼働状況等はどのようになっているか。

(答弁) 市内では上越病院、中央病院、センター病院で48床あるが、市内の感染者だけ使用するのではなく、新潟県の採配のもとで全県の感染者用として使っている。

(質問) 市内の高齢者施設で2か所感染者が出たと聞いているが、デイサービス等の利用ができなくなった場合、ヘルパー利用などの調整はうまくできるのか。

(答弁) (同じ事業者のなかで対応すること)を基本に、場合によっては別の事業者で対応してもらうこともある。市でも可能なかぎり早く調整できるようにしていきたい。

(質問) 第6波のなかで濃厚接触者の概念は広くなったのか狭くなったのか。市民は心配している。

(答弁) 濃厚接触者の概念(定義)は一貫している。変わらない。陽性者と1分以内で接触した人、陽性者と15分以上接触した人、感染防止対策をしないで陽性者と接触した人が濃厚接触者ということだ。

(質問) 不安が広がらないように、この点、市民に周知してほしい。学校が休みになって保護者が仕事を休まなければならぬ場合の休業補償の制度があるが、事業者の理解がないと休みづらい。これは非正規雇用の人も対象となるが実績として手を上げるところが少ないと聞いている。どうか。



【シンビジウム】ラン科の植物。「シンビデューム」とも言います。インターネットで検索すると、「東南アジアに自生しているものを品種改良した洋ラン」とあります。冬の花として人気は高く、あちこちで見かけます。花言葉は、「飾らない心」「誠実な愛情」「素朴」。写真は12月25日、吉川区天林寺にて撮りました。

関連業者へも支援策を

(質問) 飲食店の関連業種、例えば代行業者、食材を卸す業者、酒販売業者などがたいへんな状況となっている。こうした人たちへの支援をどう考えているか。

(答弁) 事業者経営支援金、チャレンジ応援事業などを活用していただきたい。これらはコロナが収束の目途がつかまで継続する。

(質問) ありがたいが、それだけでは足りない。



雪崩に注意！雪崩防止柵設置を！

この時期、雪崩が発生しやすくなっています。市内では、雪崩防止柵の設置が進んだものの、まだ完全ではありません。あちこちに雪崩危険箇所があります。

写真は主要地方道上越安塚柏崎線の吉川区上川谷地内で21日に発生した雪崩の現場。この雪崩で一時通行止めとなりました。

市内の雪崩危険箇所のなかには通学道路などもあります。調査、確認、そして雪崩防止柵の設置などの対策を急いでほしいものです。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2046 2022.1.30
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
 「ホーセの見たある記」は
 ← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第六九三回

大丈夫だるま

Ｔさんから「お茶あがっていつてくんない」と誘われたのは先日のごとくでした。正直言って、時間はあまりなかったのですが、何か良いことがありそうな予感がし、あがらせていただきました。

予感は当たりました。居間のコタツのテーブルの端っこに、ハガキ大の紙にだるまの絵と何か大事そうな言葉が筆で書かれているのが目に入ったのです。

近づいてみると、「大丈夫 なが起きても大丈夫 全てあなたの生きる目的につながつているのだから」という言葉です。Ｔさんは独り暮らしです。そばに誰もいませんが、テーブルの上には、「心配しなな。安心して頑張らない」といつも励ましてくれる言葉がどんと置いてあるのです。「これはいい！」と思いました。

言葉だけでなく絵もいい。だるまの絵は笑っている顔になっていて、だるまさんのお腹の位置には「愛」という字が書かれています。その下には「大丈夫だるま」という字も見えます。書かれた言葉にぴたりの絵になっていいるじゃありませんか。

これまでＴさん宅には何度もおじゃましています。でも、「大丈夫だるま」の絵とひと言メッセージの存在を意識したのはこの時が初めてでした。私は台所におられたＴさんに、「このいい言葉、いつからあったかね」と訊（き）きました。

Ｔさんによると、昨年の十一月頃、直江津は西本町のエルマールの近くにある坂田薬局「オタテ」でもらってきたのだそうです。いいプレゼントをもらいましたね。いつものことながらＴさんは、今回も台所から美味しいものを出してきてくださいました。

まずは私の好きな漬物、この日はあつさりとした黄色が目立つ白菜でした。そして大きなお椀にはガンモドキ、細かく切られた大根、ニンジン、シイタケが入っています。

した。いずれもよく煮てありました。歯ごたえからいうと、大根は切り干しだったのかも知れません。

白菜漬や野菜の煮物をいただきながら、Ｔさんからは、「大丈夫だるま」の絵とひと言メッセージとの出会いなどについてたっぷり聴かせていただきました。

Ｔさんは、長年にわたって上越市内の病院に通院しておられますが、以前、入院中のＴさんを見舞ったことがあります。そのときに、「この人はすごいな」と思ったのは、病院のスタッフはもちろんのこと、見舞いに来られた人たちと丁寧な付き合いをされているということでした。使う言葉もそうですが、何よりも心のこもった感謝の手紙を自筆で書かれていたのです。

院外薬局である坂田薬局「オタテ」とも丁寧な付き合いがどんどん発展していったのでしよう。いまでは、すっかりお店のスタッフの人たちと懇意にされていて、手づくりの赤飯やチマキなどを届けることもあるとのことでした。

「大丈夫だるま」の絵とひと言メッセージはお店のご主人と仲良しの新潟西区の平和堂薬局店主、坂本鷹聡（まさとし）さんがかかっているものです。

Ｔさんは、「だるまの絵だけでなく、風景も花の絵もいんですわ。言葉もね」と言われました。その場で調べたところ、坂本さんは雪割草等の花や小鳥、風景など、なんでも描かれています。しかも、「誰だって苦しみをつれしさに 悲しみを喜びに 欠点を誇りにする力があるんだよ」などといった「ことばの薬」も添えて……。

昨年、Ｔさんはお連れ合いを突然亡くされています。日頃から丁寧な付き合いをされる人ですから、心のこもった言葉にはすくなく共鳴されるようです。この日も「大丈夫 なが起きても大丈夫」の言葉を私が読んだだけで目がうるんでいました。

大島区では地域協議会が新年度も審査 ——新年度地域活動支援事業——

大島区の出張地域協議会が26日、大島生活改善センターで開催されました。

注目したのは新年度の地域活動支援事業の審査をどこがやるかです。市は18日、「市による審査を基本としながらも、地域協議会として審査、採択を行う意向のある場合は、これまで同様とする」という新方針を打ち出していました。委員からは「例年、審査は一日で終わっている。従来のやり方でいいのではないか」などという意見が出て、地域協議会委員で審査することに決まりました。

会議終了後は地域協議会と住民との意見交換会がありました。このなかでは、参加者から「(地域の売店)ヤマザクラの存続を」「ホテルは地域の宝。ホテル関連事業の予算確保を」などの声が出ていました。



浄土真宗本願寺派寺院、善長寺(吉川区)の掲示板です。「朝に発意、昼に実行、夕べに反省」。こんなふうにならんとやれるようになりたいものです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月19日(水)	1月26日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.053
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.040	0.037
名立分遣所	0.053	0.053
高士分遣所	0.047	0.053